

2007年2月15日

大学院数学専攻 主任殿
大学院数学関連専攻 主任殿

〒110-0016 東京都台東区台東 1-34-8
社団法人 日本数学会
「数学通信」編集委員会
委員長 舟木直久

拝 啓

早春の候、皆様におかれましてはますますご清祥の事とお慶び申し上げます。

さて、すでにご存知のこととは思いますが、日本数学会では1997年度以来毎年、雑誌「数学通信」に「修士および博士論文」の項目を設け、論文提出者名と論文タイトルを掲載しております。

昨年12月6日付けの書簡においてご連絡いたしました、今年度もこの企画を継続します。貴教室において、2006年4月1日から2007年3月31日の期間に授与された数学を内容とする修士、課程博士および論文博士がございましたら、それぞれについて、
論文提出者氏名、論文タイトル

をお知らせ頂ければ、まことに幸いです。また、すでに12月6日付けの書簡におきましてご説明いたしましたが、昨年度同様に、今回も

- (1) 論文提出者の掲載承諾書を集めていただくこと
 - (2) データをTex形式のファイルとして電子メールによって送付していただくこと
- の2点につきまして、よろしくお願い申し上げます。

(1) **(掲載承諾書)** すでにお送りしております修士論文用および博士論文用の掲載承諾書を論文提出者各々から集めていただき、それを**郵便で4月1日までに**日本数学会事務局あてにお送りください。承諾書の用紙はURL

<http://wwwsoc.nii.ac.jp/msj6/sugakutu/thesis/>
においてあります。

(2) **(データの電子的送付)** 事務作業軽減のためと数式などの掲載を正確に行なうために、前回からLatex形式のファイルとして電子メールでデータをお送りいただいております。そのためのスタイルファイル

thesis06a.sty
をサンプルファイルとともにURL

<http://wwwsoc.nii.ac.jp/msj6/sugakutu/thesis/>
においてあります。このスタイルファイルで作成していただきましたLatexソースファイルとdvi ファイルを(できましたら pdfファイルも) **電子メールで**

thesis@math.or.jp
に**4月1日までに**お送りください。ファイル名はできるかぎり教室名が分るものをお使いいただき、添付ファイルとしてお送りください(承諾書は郵送でお願いします)。

今回の結果を5月20日頃に発送予定の「数学通信」12巻1号に掲載して、ご報告いたします。これが各地の大学院における研究動向を知る一助になり、また若手研究者が同じテーマに興味を持つ仲間を得て研究を進展させるように利用されることなどを期待しております。このような趣旨ですので、どうか宜しくご協力下さいますようお願い申し上げます。

敬 具

連絡先・照会先

日本数学会事務局または
電子メール thesis@math.or.jp